

一般質問17人が登壇

紙面の都合により、質問と答弁の要点のみ掲載しています。市議会会議録は、図書館、公民館、庁舎、地区行政センターなどの公共施設、ホームページまたは議会事務局にて閲覧できます。
なお、3月定例会会議録は6月中旬から閲覧可能です。

玉川里子

問 経営悪化に伴う白河管内の雇用状況を伺います。

答 この地域は、車や電子部品関連の製造工場が多い。中通り地方は、昨年10月以降から今年3月までの解雇予定数は122事業所・4122名です。

問 市の緊急雇用対策は。

答 市の直接雇用は17名、委託等の間接雇用は33名です。

問 高卒見込みの就職内定は。

答 内定率92・7%で、現時点での内定取り消しはない。

問 生活保護について

答 1月末受給者は251世帯、310名で、今後の増加が予想されます。

問 火災による高齢者の死亡が多いため、火災警報器の設置を要望します。

答 高齢者世帯、ひとり暮らし世帯への実施も含め、国が全世帯への設置を義務付けたことから、高齢者に対して安全を図ります。

問 敬老会、成人式の開催。

答 市民の一体感を深めるため、統一開催が望ましいが、各地域や敬老会・成人対象者の意見を尊重し検討します。

問 ひがし保育園の改修は。

答 建物周辺の測量や基礎調査を行い、安全性に努め、工事を実施します。



ひがし保育園

問 市長が掲げる歴史・文化

答 伝統を活かしたまちづくりに対する推進策はどのようなものか。

答 白河市のまちづくりを推進していくうえで、足元にある資源を活かすことが必要です。この中でも、歴史・文化の活用が大きな鍵を握っていると考えています。このため、新たに市長公室内にまちづくり推進室を設置し、道路や建築物等の整備、義務教育や生涯学習等市政全体を貫く視点として、全庁的な推進と調整を図り進めてまいります。

問 景観法に基づく景観形成

答 景観法に基づく景観形成行政団体に、白河市が県より交付を受けたことにより、今後、景観形成をどのように進めるか。

答 本市が景観行政団体になることにより、これまでの条件は理念的なもので、実効性に欠けるなどの面があり、今後は法に基づく景観計画を策定し、景観上重要な建造物・樹木の指定、重要な河川・道路・公園など公共施設や電線共同溝の整備、建築物・工作物等に対するデザイン・色彩を含む、規制の強化や緩和、住民合意による景観協定などを定めてまいります。

問 国民健康保険及び介護保

答 国民健康保険及び介護保

問 広域行政の今後について、市長の考えを伺う。

答 すべての国民を対象とする医療保険制度の一本化を国に對し要望しているところです。

問 生活交通や医療・福祉施設の確保など、生活に直結した分野で、ますます広域的視点に立った政策の重要性が高まるので広域の結びつきを強め一層の連携強化を図ります。

問 介護予防のための保健指導や健康教室の充実について

答 保健師の活動を通し対象者の把握と参加者拡大に努め積極的に介護予防を推進します。

問 がん検診の受診率の向上について

答 未受診者への家庭訪問やすべてのがん検診の日程を示した検診一覧表の全戸配布、検診の実施期間の延長などを図ります。

問 男女共同参画事業の今後の具体的な取組みについて

答 新年度に庁内組織として男女共同参画推進本部を立ち上げ、次期計画では数値目標の設定などを考えています。

水野谷 正則

問 「一体化の推進及び地域の均衡ある発展」について

答 地域づくり活性化支援事業の予算を増額計上。今後は、五箇、白坂、白河北部等への協議会設置を検討したい。

都市計画道路の西郷掘目線結城工区（ファミリーマートわしおストア一問）については、白河東部地区から市街地への玄関口となる道路なので

国の交付金事業に格上げし重点整備を図る。また、生活に身近な道路維持管理費を増額します。

旧村と市内を結ぶ公共交通網の整備については、新年度中に計画を策定します。

問 経済情勢から「生活弱者及び子育て支援」について

答 国保税減免基準の見直し、介護保険料の急激な上昇抑制



西郷掘目線 結城工区

策（基金の最大限活用）・小学校三年までの医療費無料化（入院分）を実施します。

また、高齢者や障がい者の外出支援策や高齢者サロン事業（高齢者等の触れ合いの場の創出）に取組みます。

問 「図書館への教科書コーナー設置」について

答 早急に設置し、閲覧できるようにします。

須藤博之

問 中心市街地活性化基本計画が承認された後、市は何に取り組むのか。

答 「白河駅前多目的複合施設整備事業」、また「歩行者系街路としての老舗通りや夕月山プロムナード」、「マイタウン白河1階ギャラリィ、イベント機能の整備」、「町名由来表示板設置事業」や「街なか集合住宅建設助成事業」などを行います。民間団体のハード・ソフト事業と併せ、庁内挙げて全力で推進してまいります。計画実施には地元住民の参加・参画が必要不可欠でありますので、皆様のご協力を得ながら連携して、市街地再生の第一歩を踏み出してみたいと考えております。

問 白二小の通学区変更は考えているのか。

答 一部変更要望がありますので、現在、通学区域検討審議会に検討をお願いしています。今後は、平成21年度に開催する審議会において、地域住民の要望、通学路の安全性及び通学距離等について調査・審議をいただき、その答申を踏まえ、教育委員会で決定します。



白河駅

大竹功一

問 新規雇用創出が問題となつてくるが来年度事業である「ふるさと雇用再生特別基金事業」及び「緊急雇用創出事業」の雇用予定数及び各事業の賃金・期間等について伺いたい。

答 「ふるさと雇用再生特別基金事業」については雇用期間

間は1年、3カ年の計画です。賃金については、日給制・月給制など事業によって異なつていて、雇用予定人数は合計で36人である。「緊急雇用創出事業」については雇用期間半年としている。賃金については1日、6400円から1万1300円と事業によって異なつていて、雇用予定人数は52人です。

問 レジ袋の無料配布禁止について、2月にはいわき市、4月には喜多方市で導入が計画されている。白河市はこの問題についてどのように考えているのか。

答 県の動向を踏まえ検討していたところ、先日、県内の大手関係機関との調整がつき、本年6月から県内全市町村での導入が決定しましたので、当市も参加の予定です。



星吉明

問 合併協定項目の統一と実施状況について

答 統一された協定項目の割合は42項目で全体の89%、今後とも期間内統一完了を目指したいと考えています。

問 今後各料金にかかる項目は協定遵守かまたは見直しかについて

答 基本的には合併協定書を遵守し、社会経済情勢の変化また、財政状況を考慮し見直しも考えています。

問 温暖化防止対策状況と削減計画について

答 ゴミの有料化と分別回収また「エコオフィス」さらかわプラン」を策定し、省エネの推進と今後福島議定書事業へ市内小中学校の参加またCO₂排出抑制効果が期待される森林整備事業に取り組んでまいります。

問 国道294号町屋工区の要望姿勢と進捗状況について

答 国道294号建設期成同盟会また関係市町村と共に国・県へ要望活動を行い、平成20年度は新規に交通安全施設整備事業として採択され、町屋交差点部分の用地測量を行いま

した。今後の事業については、建物の移転も伴うことから、県と連携を図り進めたいと考えています。

高橋光雄

問 景気対策について

答 本市の将来を見据えた基礎作りには不可欠な事業を、一気にも前倒しして実施することもあり考えますが、景気対策として、公共事業にどのように取り組もうとしているのか。

答 2月臨時議会で、平成21年度予定事業から市道登町線、山田線、大信2-7号線、深仁井田・千代ノ岡線の整備等、予算化を認めていただきました。当初予算でも、市道八竜神形見坂線、西郷堀目線、白河駅白坂線等に重点投資し、道路維持費も増額します。さらに国の動向にあわせ、補助金や交付金を活用して取り組めます。

問 道の駅に関連して

答 国道4号は4車線拡幅やスマートインターチェンジの整備が進み、甲子トンネルの開通によって交通量の増加が見込まれます。また、県トラック協会から休息施設設置の要望が出されていると聞いて

います。何らかの休息施設が必要と考えますが。

答 飯沢地内の市有地を含む場所に、休息施設設置に関し関係機関と協議を進めます。

穂積 栄 治

問 今後の投資的経費について、各地区のバランスはどのように対応するのか。

答 白河市全体の中長期的な視点及び各地域の特性や活力を保持するという両方の視点を踏まえ、財政の見通しを勘案しながら地域の均衡ある発展に取り組めます。

問 ブックスタートは、親子に対し読み聞かせの体験や、親子が肌で触れ合いながら子どもに語りかけることの重要性、時間の大切さを知ってもらうため、全市で事業を実施してはどうか。

答 この事業は親子の触れ合いを深め、豊かな情操を育む上で有意義なことから、今後前向きに検討します。

問 米粉について、学校給食などでの消費拡大策はあるのか。

答 安定かつ継続した消費策として、学校、保育園、介護施設での消費拡大を推進しま

す。

問 小学校と中学校とでは、米飯単価に相違があるが、教育委員会としてどう考えるか。

答 県内同一であり、現在の価格設定はやむを得ないと考えています。



南中学校給食風景

石 名 国 光

問 緊急経済・雇用対策事業として、市独自工事等は前倒し発注してはどうか。

答 予算執行に当たり、雇用状況等に考慮し、市の単独事業の早期発注に努め国庫補助事業についても、早期に執行できるように進めていきます。

問 「乙姫桜を守る会」、「年貢町だんこ市」といった地域活動に対して、市が支援できないかお聞きしたい。

答 まちおこしやイベントな

どの活動に対しては、様々な観点から積極的に支援を行うべきと考えております。

問 白河駅舎活用事業にあわせ駅前ロータリーの改良と、駅舎を物産館として活用し、市内観光の拠点として、機関区跡地をミニ鉄道公園での活用を提起します。

答 駅舎は、大正ロマンを感じさせる市のシンボルであることから、ご提案の駅舎を利用した物産館と駅前ロータリー改良、さらなる駅舎活用にも含めて検討してまいります。ミニ鉄道公園は、現在駐車場として利用しており、当面は現状での利用を考えています。

菅 原 修 一

問 水田フル活用対策についてどのように対応するのか。

答 食料自給率向上のため水田を有効利用する政策が打ち出され、助成率が高く、水田機能を維持したまま、生産が可能な米粉、飼料用米、稲WSCSを重点的に推進する考えです。

問 米飯給食回数を増やせないのであれば、小麦粉に代えて米粉を使ったパンや麺の利

用ができないか。

答 学校給食会などと原料価格や加工賃などの課題について協議し、米粉利用について研究してまいります。



『天地人』幻の白河決戦・革籠原防塁跡

問 NHK大河ドラマ「天地人」を活用した活性化対策について

答 平成19年4月に発表されて以来PR等の取組みをはじめ、革籠原に現地説明板を、新白河駅構内に横断幕も設置し、ゆかりの地にはのぼり旗を設置しています。7月には「しらかわ歴史の街づくりフォーラム」と連携して、火坂氏による講演会、元NHKアナウンサー松平定知氏による

「幻の白河決戦」の朗読、火坂氏と松平氏の対談などの記念事業を実施する予定です。

藤 田 久 男

問 平成21年度の各地域自治区の予算配分は何を基礎として配分されているのか。

答 第一次総合計画に基づき、事業を中長期的視点に緊急性・重要性の高い順から基本としております。

問 特例債は、各地域自治区の10カ年計画のとおりと考えるよいか。

答 基幹的事业に有効活用を図る各地域協議会の意見を聞き、合併特例債の有効な事業の選択を図ってまいります。

問 白河―浅川線廃止に運行している代替バスの廃止はなぜか。

答 多くのご利用をいただけるように無料運賃とし、利用者からダイヤ改正要望などもあり、利用促進に努めてまいりましたが、運行開始から先月5ヶ月間で、1日当たり27人の利用実態から3月をもって廃止を判断したもので、地域特性にあった公共交通について検討したいと考えております。

吾妻一郎

問 表郷八幡字岩下及び石前地内の急傾斜崩壊対策について

答 土砂災害危険箇所に住む地域住民の安全確保に取組むとともに、県に早期着手を要望していきます。

問 表郷地域図書館整備運営について

答 6月1日の開館を予定しています。現在の蔵書数は1万1500冊で、目標は1万5000冊を予定しています。一般図書と児童図書の比率は一般図書64%、児童図書33%です。図書館への人員配置については、正職の兼務を含む4名体制で運営する計画であり、そのうち何名かは司書の配置を考えています。

問 南湖公園周遊道路、環境整備について

答 公園内道路については極力現状のまま保全管理を行う考えであり、維持管理として砂利敷きを行い、利用者に不便をかけないように努めます。松林の下草刈については現在鏡の山、月待山、千代の松原地内を実施しています。今後とも地形、条件等を考慮し適

切な時期に下草刈を実施します。菅生館駐車場トイレは景観も配慮した設計で早期完成を目指します。

藤田文夫

問 災害弱者の支援計画について

答 年度内の「全体計画」の策定を目指しております。本計画の策定後、引き続き「災害時要援護者台帳」の作成を進めてまいります。

問 地上デジタル放送への対応について

答 既存共聴組合が改修を行った場合は、電波遮へい対策事業の補助対象となります。受信不能地区については、表郷などの中継局のデジタル対応がすべて終了していません。現時点における難視聴地区の特定は難しいと考えておりますが、市民からの相談や要望を伺いながら現地調査を実施し積極的に対応します。

問 道路、橋の維持管理について

答 道路の安全を確保するため、新年度においては道路維持に係る予算を増額し、維持修繕の充実に努めます。老朽化する橋梁が増加することか

ら、予防的な修繕や計画的な架け替えに取組むため、平成21年度から点検・調査を実施して「橋りょう長寿命化修繕計画」の策定を行います。



大花務

問 企業誘致の推進について

答 企業誘致は、地域産業の支援と併せ、産業振興の要であると同時に、地域活性化にとって大変有効な施策であると考えます。また、全体的な産業の発展の上からも、農業・商工業等の底上げと優良企業の誘致との組み合わせによるバランスのよい産業集積が重要であると認識します。現在の経済状況では、生産の落ち込みと先行きの不透明感から、

企業の設備投資意欲が極端に落ち込んでおり、誘致活動も大変厳しいが、太陽光発電に代表される環境関連産業や情報通信・医療関連産業など、

今後、需要増が見込まれる産業の設備投資の情報を入手し、迅速に行動するなど、誘致に向け努力を続けることが必要です。これまで経済を牽引してきた産業においても、在庫調整が終了し、雇用や融資環境が整備されれば、生産の回復も期待されるため、白河の優位性を最大限生かす一方、白河にゆかりのある企業人等人脈を活用しながら、きめの細かい誘致活動を進めてまいります。と考えております。

伊藤邦光

問 上水道第4次拡張事業の進捗状況について

答 水道第4次拡張事業は、平成11年から25年までの15年計画（総事業費28億2000万円）で取組まれてきました。私は、提出されて以来、この計画の問題点を本議会で取り上げてくださいましたが、平成15年3月議会で始めて見直しの答弁があり、それらの部分は取組まれないまま11年目を迎えました。

現在までの事業の進捗状況と今後の事業計画についてお伺いいたします。

答 平成11年度から20年度までの実績は、（年度ごとに事業名と事業費を明らかにして答弁）11億200万円となります。今後の事業計画については、21年度・配水管布設工事4900万円。今後25年までは、年・5400万円の事業ペースで計画。残り10億6300万円については、事業の変更認可が必要になりますので、今後行う簡易水道事業の統合を含め、事業計画、事業費、事業期間を整理してまいります。20年度末の進捗率は45.3%です。

深谷弘

問 子どもの医療費助成について

答 新年度7月から「小学校3年生修了時までの入院医療費」が助成の対象となります。したが、県内市町村の実施状況からみればわずかな前進です。もっと対象年齢を引き上げられなかったのでしょうか。

答 今年度の予算編成は、事全体を見据え、重要性、優先性、緊急性を考えあわせながら重点配分しました。その一

総括質疑

大竹 功

部として、女性の社会進出と育児支援も入っており、今回入院費用の助成を小学校3年生まで拡大したものです。小さい一歩ではありますが、大きい一歩の始まりだと考えています。

問 必ずしも財政的に豊かな市町村だけが対象年齢大幅引き上げを行っているのではありません。やるか否かは、市長の政治判断・決意にかかっています。

答 市民からはいろいろな事業の要請がありますが、財源は一定額しかありません。厳しい財政状況にはありますが、今後緩和される見通しですので、第二步へつなげて行きたいと考えています。



(社)白河社会福祉協議会
白河市中央デイサービスセンター
介護相談員派遣先の一つ

問 今回、白河市非常勤特別職として「介護相談員」及び「教育事務評価検証委員」が追加されるが、特別職とした理由・業務内容及び報酬の根拠について伺います。

答 介護相談員については以前からボランティア的存在として活動していましたが、明確な身分を設定したいと考え、特別職としました。業務内容についてはこれまで同様に、介護施設利用者に対しての相談業務となります。次に、教育事務評価検証委員については平成19年度に文科省において制度化され、当市では昨年より活動していただいています。同様に制度確立のため特別職としたいと考えています。業務内容については、年3〜4回、委員会を開催し、事務の遂行等についてアドバイス等を受けたと考えています。

問 白河中央IC南線改良工事について、請負契約の金額の変更がされるのはなぜか。土木工事の場合、推定さ

れた地質が実際の工事現場と一致しない場合、変更について約款で定められています。



白河中央インターチェンジ北線

須藤 博之

問 暖房機改修事業の内容と今後の計画について

答 F F暖房機の老朽化に伴う機器の更新事業であり、白二中20台、表郷中13台の更新予定です。改修計画は、設置から、20年以上経過し老朽化等により支障を来している状況にあり、今年度より経常的で軽微な修繕とは別に、政策的な事業として、計画的に改修に努めていきます。更新が必要な507台に対して平成20

年度で79台、21年度で33台の更新予定で、残り分も引き続き年次計画で取り組みます。

問 行政分譲地（大信田園町府・表郷第2白鳥団地）の販売促進策はどうか。

答 現在の販売価格では、分譲が難しいものと判断し、新年度から販売価格を競争力のある価格（45%程度）まで引き下げをします。それを前面に押し出すとともに、地元や近隣地域の子育て世代などの若年世帯を主なターゲットとして、効果的なPR活動を展開し、さらに地元不動産業者と連携を強化し官民一体で販売を展開していきます。

深谷 弘

問 平成20年度予算で合併振興基金から300万円繰入が行われていますが、何に充てられたのでしょうか。

答 基金の利子分を活用し、市民と行政の協働によるまちづくりを推進するための「市民協働推進事業補助金」へ120万円、「地域活力の向上」を図るための「地域づくり活性化支援事業補助金」へ180万円を充当しています。

問 合併振興基金は、合併特例債を3年間積立てたもので、残高は25億7000万円にもなります。今後もっと有効に使うべきではないでしょうか。

答 この基金は、基本的に果実運用型となっており、地域イベントの開催をはじめ、新たな文化の創造や伝統文化の伝承、商店街の活性化対策などの事業を通じて、新市の一体感の醸成やコミュニティ活動の活性化、また、地域活力の向上につながるような地域づくり活動の各種ソフト事業に活用することになっています。現時点では、原資まで取り崩して活用することは考えていません。

表6 2月市議会臨時会議案等一覧

議案第1号	専決処分の承認を求めることについて
議案第2号	白河市介護保険臨時特例基金条例
議案第3号	白河市特別用途地区建築条例
議案第4号	白河市ライフ&ビジネスパーク地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例
議案第5号	損害賠償について
議案第6号	平成20年度白河市一般会計補正予算（第8号）
議案第7号	平成20年度白河市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
議案第8号	平成20年度白河市介護保険特別会計補正予算（第4号）
報告第1号～第3号	専決処分の報告について